

特定非営利活動法人

フードコミュニティ目黒 広報誌

米創庵
KOME SOU ANN

2015年3月
第13号

発行日 平成27年3月13日
発行所 特定非営利活動法人
フードコミュニティ目黒
理事長 渥美 昭美
〒152-0001
東京都目黒区中央町2-32-5
スマイルプラザ中央町
TEL : 03-5768-0707
FAX : 03-5768-0717
E-mail : okowa@fc-meguro.com
<http://www.fc-meguro.jp/>

就労移行支援事業所フードコミュニティ目黒にハローワークが期待すること

渋谷公共職業安定所 専門援助第二部門 統括職業指導官 萩生田 義昭

フードコミュニティ目黒の皆様には、日頃より障害者の就労支援に向けて、ハローワークとの連携、ご協力をいただき、誠に有り難うございます。

さて、民間企業等における障害者雇用に向けた採用意欲は、平成25年4月に法定雇用率が改定されたこと、また、今年の4月からは、障害者雇用納付金制度の対象となる事業所が拡大されることなどの障害者の各種雇用施策により、今後も拡大・継続することが見込まれます。

就労移行支援事業所に求められる役割は、その事業所内での作業訓練等を通じて、一般(企業)就労に必要な知識や技術の習得及び能力の向上を計画的に行い、就職へつなげることがその一つですが、今後、重要となるのは、就職後の職場定着支援だと考えます。

職場定着に向けて、安定するまでの支援が、そして、地域の就労支援センター等へその後の支援を繋げるのが、重要な役割になるのではないのでしょうか。

特に、今後、増えると思われる障害者を初めて雇用する中小企業等では、採用後に起こりうる職場定着に向けての諸問題の解決のために、就労移行支援事業所からのサポートを期待するでしょう。

就労移行支援事業所には、就職支援から職場定着に向けて、障害者本人だけでなく、企業側にも深く関わりをもった支援が、今後、求められると考えますので、そのような役割ができるよう、ハローワークはフードコミュニティ目黒に期待しています。

現在の状況

フードコミュニティ目黒理事長 渥美 昭美

フードコミュニティ目黒(FC目黒)は、26年度就労移行支援の2名が企業就労し6カ月の定着支援も済んで、その後は就労支援センターにお願いをしています。

現在は就労継続支援(B型)の方が施設外支援としてトライアル雇用で行っています。初めは不安の様子でしたが、今は笑顔で企業の帰りにFC目黒に来てくれます。27年度の4月より移行支援で特別支援学校他より3名の方が入ります。今訓練をしている方と切磋琢磨して伸びてほしいと思っています。

26年度継続支援(B型)の目標工賃の33,000円は超えます。これは目黒区役所、ジュンアシダさん、御門屋さん、ワカエさん等の企業、さんまるしえさんのお蔭と利用者、FC目黒職員全員が頑張っている結果だと思えます。

26年度苦情処理の為の第三者委員3名の方と11月に利用者との懇談会を行い、1月に入り今度は家族の方々と懇談会を行いました。大変良かったので、これは毎年行いたいと思っています。今後とも、FC目黒にご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第三者委員と利用者、家族との懇談会 ～苦情のない施設を目指して～

フードコミュニティ目黒施設長 吉塚 晋

FC目黒では、利用者と家族と苦情処理のための第三者委員の方々3名と懇談会を実施しました。「利用者の皆さんにさらに安心して働ける施設を目指す、苦情などがある時は相談できる体制があることを知ってもらう」を目的として行いました。

利用者との懇談会ではお互いの自己紹介を行い、普段頑張っていること、余暇活動や趣味、FC目黒に通所するまでのことなど、皆さん積極的に話していました。

『厨房の仕事を頑張っています。』

『スポーツが好きです。休日は○○公園で2時間くらい運動やジョギングをしています。』

『一泊研修の旅行、楽しかったです！』

など色々話が出ました。『趣味は音楽を聴くのが好きです。』との利用者さんの話には、

『カラオケ大会などやったらどうか？』との案が第三者委員の方から出ました。

相談では、利用者同士の気になっていること、FC目黒の活動でもっとやってほしいことなどの意見が出ました。健康面や食生活では、

『体が固いのでどうしたらいいですか？』

『骨がある魚が食べられない、どうすればいいですか？』

など身近な質問にも、第三者委員の方々の経験も踏まえて親身になって色々アドバイスをいただきました。

その他、FC目黒の作業のことや、楽しみにしていることなどの話ができ、第三者委員の方々から『お互いのことを知ることができて良い懇談だった。』との意見をいただきました。利用者の皆さんも、自分たちのことを聞いてもらい、いつも接している支援員とは違う切り口で色々な話を聞き、『気持ちがあっさりした。』と言っていました。

家族との懇談では、成年後見人やグループホームなど、利用者の皆さんの将来や老後についての質問や意見交換が行われました。苦情処理という枠だけでなく、第三者委員の方々の専門性を生かし、幅広い内容の話し合いができました。

今回初めての試みでしたが、利用者、家族、FC目黒にとっても有意義な会でした。

利用者、家族が苦情をかかえることなく安心して通える施設を目指し、今後も継続して行っていききたいと思います。



11月には一泊研修を楽しみました



大湧谷にて

職員内部研修の報告

FC目黒では、外に出かけての様々な研修の他に、講師をFC目黒に招いて内部研修を年4回行っています。講師は2名で、お一人年2回お願いしています。

大南英明先生は、全国特別支援教育推進連盟理事長であり、FC目黒の理事でもあります。12月の研修会では、グループホームや寮での生活は、生活習慣が身に付き、自立心(自分のことは自分で)やルールや時間を守ることを、協力・思いやりが育つといった良さがあることを具体的にお話し頂きました。また、基本的習慣をしっかり身に付けるためには、小さい時から習慣付けていく必要があることを「生きる力」模式図を示して教えて頂きました。この他、ダウン症の障害特徴や就労支援をするために支援員が身に付けておきたいことをお聞きしました。人との付き合い方、身だしなみ、気力、体力、意欲等々、企業が求めることを支援員自らが利用者にはっきり見せていくことが大切だという助言を頂きました。

針谷正治氏は、御門屋の社長でFC目黒の設立当初から多大なご支援を頂いており、受注作業の袋折りを絶えることなく受けています。社員教育に力を入れておられ、毎回FC目黒の抱えている課題に焦点を置きながら、職場人としてどうあるべきかをお話し頂いています。8月に続いて、2月に2回目を行いました。まず、同じ食品業として、今世間を騒がせている異物混入の件を、自分たちのこととして受けとめ対応をしっかり考えていかなければならないといった話がありました。その後、一人ひとりの今年の目標とそれに向けて具体的にどう行動するかを発表し聞いて頂きました。行動はより具体的に、一心にそれに打ち込む、つまりそれに向けて努力することが大切。等々、職員一人ひとりに質問し発言を求めながら、生き方を含めた身の引きしめる貴重な話をして頂きました。

こういった研修を通して、職員の意識が年々高まっていることを感じます。

休日サービス提供日の活動



上野動物園にて

利用者の希望も入れて、文化的な事、レクリエーション的な事、季節的行事、自然に親しむ、調理等のバラエティに富んだ活動内容を計10回実施しました。

『水上バスと浅草観光』では、日の出棧橋から水上バスに乗り、流れる景色をにこやかに眺め、浅草観光も満足できた様子でした。『劇団四季ミュージカル「赤毛のアン」観劇』は舞台に大感激。とても満喫できました。『上野動物園見学』では、眠っている2頭のパンダの姿を、全員が興味を持って嬉しそうに話しながら観察していました。

そして『三鷹の森ジブリ美術館鑑賞』では、受付にいる巨大なトトロに迎えられ、中に入ると自分の好きな登場人物のイラストを見つけて喜んでいました。その他に『林試の森公園散策とオリエンテーリング』『ボーリング大会』をみんなで楽しみました。

休日サービス提供日の翌日は、利用者同士感想を発表し合い、その日の出来事を行かなかった人にも教えてあげて話に花が咲き、次回の休日サービスを心待ちにしている様子です。次年度も楽しい活動をみんなで相談して決定していく予定です。



浅草寺へお参り

はじめまして

★F C目黒に入職して感じる最大の喜びは、利用者の皆さんの本当に素敵な笑顔に毎日出会えることです。優しさと思いやりに満ちた笑顔のなかにもそれぞれの個性があり、自分らしさを存分に発揮している姿に触れることができ、「この仕事を選んで良かった!」「皆さんに巡り会えて良かった!」と心から働く喜びとやりがいを感じる毎日です。

F C 目黒のこれまでの歩みの中で関わってこられた多くの方々の願いと努力が結実したものとして、明るい笑顔の溢れる今のF C目黒があると感じます。その礎の上に立ってさらに発展させていくことが支援員として私に求められている役割であると自覚し、大きなやりがいとともに責任を感じております。

皆さんが安心して自分らしく輝き続けられる大切な場所としてF C目黒を守り、発展させていくために微力ながら尽力します。
(支援員 末光 直樹)

★前職までは飲食業界の方で働いており、店舗で営業、車でのケータリング営業、配達、野外イベントや地域のお祭りでのイベント出店等々、さまざまな事にたずさわってきました。

これらの経験を生かし、お萩・おこわ・赤飯の仕込みや製造、厨房での業務・配達・販売等を身に付け、早く利用者の就労につながる支援をしていきたいと思っています。

過去、福祉の学校を卒業しており、在学中に障害者施設への実習や見学、施設ボランティア等経験はありますが、空白がある上まだまだ経験や知識不足なので、利用者との関わりを沢山持ち勉強し、一刻も早くこの『フードコミュニティ目黒』の力になれるよう頑張ります。
(支援員 浅賀 道雄)



朝早く出勤しておこわ炊き

二人とも昨年12月からF C目黒に勤務しています。どうぞよろしくお願ひいたします。



*イベント・サークル・会議等のお集まりに、ご予算に応じてお作り致しますので、お気軽にご相談くださいませ。

■ご注文・お問い合わせ
電話03-5768-0707
(9:00~17:00/土日祝休み)

安心・安全の厳選素材が自慢です!



宮城県産の環境保全米(減農薬)「ひとめぼれ」100%を使用。主菜は、肉または魚をメインに、和洋折衷バラエティ豊かです。

白米弁当/500円⇒515円
赤飯弁当&山菜おこわ弁当/各600円
⇒620円

宮城県産こがね餅米100%使用。



赤飯(220g)
400円⇒410円



山菜おこわ(220g)
400円⇒410円



お萩(5個入り)
400円⇒410円

*平成26年4月より消費税値上りのため、価格を変更いたしました。